

アクティブシニアの社会参加支援事業

平成29年度モデル市町の取組

平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 東松山市

目的

高齢化が進む中でまちの活力を維持していくためには、高齢者にもまちの担い手の一員となってもらう必要があります。東松山市では企業誘致を積極的に進めてきましたが、新規に進出した企業や既存の企業では、働き手が不足しており、雇用の確保が求められていることから、元気で就労意欲にあふれる高齢者を対象とした就労支援事業を行う。また、地域活動への参加がしやすい環境を創出し、いきがいを持ち生涯活躍できるまちづくりを進めていく。

内容

アクティブシニア企業合同就職説明会（平成 30 年 2 月）

概ね 60 歳以上の就労意欲のある高齢者と、東松山市内に事業所がある企業等を対象に企業合同就職説明会を開催する。

会場では、高齢者向けに社会参加を促し、就労を応援するセミナーを開催する。

また、求人募集を行っている企業が個別ブースで企業説明を行い、参加者と質疑応答を行う。希望者には面接を実施し、採用につなげる機会を提供する。

きらめき市民大学アクティブシニアボランティア活躍事業 （平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月）

きらめき市民大学の学生を対象に、ボランティアに関する講座を開催。また、そこで得た知識をボランティア活動に活かす講座も開催する。

きらめき市民大学がボランティア活動の受付、紹介を行うことで、活動への参加促進と活躍を支援する。

きらめき市民大学のボランティア講座

きらめき市民大学の第 1 学年 93 名に、きらめき市民大学の在校生・OB によって組織されるボランティアクラブを紹介し、加入を促しました。

また、実際に活動されている方のお話によりボランティアへの意識を高めた後、ボランティア体験も実施しました。



28 年度の取組・効果

就職に関する説明から面接までをワンストップで行う
「シニア向け企業合同就職説明会」の開催

113 名の来場者に対し
13 名採用（予定含む）
シニアの雇用に直結！



平成29年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 蕨市

目的

シニアが地域に興味をもち、ボランティアや市民活動等に参加するきっかけとなる事業を継続展開する。また、気軽にボランティアや市民活動情報に触れられシニア同士の交流も図れるコミュニティカフェの調査研究や、担い手養成などを行う。

内容

ボランティア・市民活動「見本市」の開催（平成29年7月）

ボランティアや市民活動などへ参加するきっかけ作りとなる見本市を行う。当日は、講演会とボランティア・市民活動団体による活動発表を行い、参加者に様々な活動を見てもらったり、ちょっとした体験ができたりする場を提供する。

ボランティア・市民活動「体験会」の開催（平成29年9～10月）

9月から10月までの2か月間、ボランティアや市民活動団体の活動を市民が体験する会を実施する。また、夏休みにを行っている社会福祉協議会の「はじめてのボランティア活動」や9月、10月に開催している地区生涯学習フェスティバル等と連携をしていく。

コミュニティカフェについての調査研究（平成30年1～3月）

市民活動の情報発信や地域の居場所となるコミュニティカフェについて、興味のある方々と交流しながら調査研究を進め、担い手の養成につなげていく。

スキルアップ講座の開催（平成29年12月、平成30年2月）

まだ活動を始めていないシニアを始め、つながるバンク登録者や市民活動団体向けに、定年後の男性が活躍する事例の発表や活動につながるようなPR活動などの研修を予定している。

ナビゲーターの配置・情報提供

わらびネットワークステーションにナビゲーターを配置し、新たに活動を希望するシニア世代の方々と市民活動団体とのマッチングを行う。

ボランティア及び市民活動団体等のネットワークの構築

ボランティア・市民活動「見本市」、「体験会」を開催することにより、ボランティア・市民活動団体や社会福祉協議会等の関係機関とのネットワークの構築を図る。

ボランティア・市民活動「見本市」

- 平成29年7月22日（土） 蕨市民体育館
参加者数：約500人
- あべ静江氏講演「人生楽しく生きなきゃ損だもん！」、活動団体のステージ発表、参加団体のブース出展



スキルアップ講座

男の学び舎「笑楽日塾（わらびじゅく）」

- 平成29年12月10日（日） 蕨市立旭町公民館
参加者数：24人

- 事例発表、ワークショップ、交流会

コミュニティカフェ講座

「40代からの男の厨房 だれでもカフェ講座」

- 平成30年1～3月（全7回）参加者数15人
蕨市立中央公民館、クアッカ（わらびチャレンジレストラン）



28年度の取組・効果

見本市（イベント）の開催を通じて
シニアのボランティア体験会を実施
シニアと市民活動団体とをつなぐ
「ナビゲーター」の設置

見本市には600名が来場
65名が体験会に参加し、半数の32名が活動の継続を希望



平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 北本市

目的

シニアの地域デビュー出会いづくりセミナーや地域デビューを後押しする講座、高齢者の生活支援ニーズ拡大におけるサービスの担い手養成講座等を開催し、高齢期の就労・社会参加で活躍できる体制の整備を図る。

内容

地域デビューを後押しする講座の開催（平成 29 年 9 月～

介護に関する基本的知識や技術を習得し、介護施設での就業を目指す「介護の基本・総合習得コース」や、加齢や生活習慣により衰えがちな運動機能について学び、軽運動の実践方法を身につけて地域で広めていくことを目指すロコモ予防講座の開催し、就労やボランティアへ促す。

シニアの地域デビュー出会いづくりセミナーの開催（平成 29 年 7 月～平成 30 年 2 月）

地域活動や就労などシニアの活躍を支援するため、サービスの担い手養成や具体的な活躍の場の紹介などを行う。（生活支援担い手養成講座や介護予防サポーター養成講座、市内に活動拠点を置く NPO 等に協力を得ながら、NPO 等で活動する場合に必要な知識を習得する地域デビューのきっかけづくりセミナーを開催）

地域デビューチャレンジフェスティバルの開催（平成 30 年 3 月）

地域活動への関心を深め、活動につなげるため、パネル展と相談会、講演会などを開催する。

地域デビュー出会いづくりセミナーでは、受講者から新たな動きも。

介護予防サポーター養成講座では、「イキイキとまちゃん体操」を受講者が学び、それぞれの地域で広める伝道師となってもらう。受講者の中からは新規サロン立ち上げの話も動き出している。

生活支援担い手養成講座では、受講後すぐに担い手となれるよう、活躍の場を講座内で紹介している。



28 年度の取組・効果

アクティブシニア輝き講演会「60歳からの人生設計 いつやるか？」
講師：林 修（東進ハイスクール東進衛星予備校 現代文講師）

- ・アンケートの結果、「社会活動をしてみたいと思った」と回答した参加者が有効回答数の約 80%。
- ・セミナーへの参加申し込みやファミリー・サポート会員登録へ

地域で輝くセカンドライフセミナー
(1) 福祉・介護コース(全5回)
(2) 就労コース(全5回)

平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 幸手市

目的

平成 28 年度に満 60 歳を迎えた市民を対象に、還暦式を開催し、シニア世代の生きがい参加のサポート、ひいては今後のまちづくりの新たな担い手を育てる手段とする。

内容

「還暦式～3回目の成人式～」開催事業

平成 29 年 11 月 23 日（木）14 時から 幸手市北公民館

（内容）

- ・市長、来賓等による祝辞
- ・講演「生涯現役、自分らしく輝くために」講師：松本 すみ子
- ・地域デビュー楽しみ隊 鈴木一男 氏による激励
- ・アトラクション

別室で生きがいづくりや地域デビューのための情報提供を行う。



埼玉新聞 14面



28 年度の取組・効果

「幸手の未来地図を作ろう」埼玉健康と暮らしを支える市民勉強会
 地域丸ごとアミューズメント
 しあわせすぎプロジェクト
 しあわせすぎスピーチ
 60歳からの合同就職説明会
 しあわせすぎキャバレー（介護スナック）
 春のしあわせ歌謡祭&コミュニケーションカードラリー
 コミュニティデザイナー養成講座 等

平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 鶴ヶ島市

目的

地域活動に参加していないシニア世代の方を対象に、地域活動に参加するきっかけとなるイベントや講座を開催し、地域活動の担い手として活動することで、地域の共助社会の実現を目指す。また、地域では様々な団体が活動しており、その情報の共有化、ネットワーク化を図ることで、地域活動にスムーズに案内できる体制づくりを構築する。

内容

「地域デビューきっかけ広場」の開催（平成 29 年 9 月）

昨年に引き続き、地域活動に参加していないシニア世代の方を対象にした「地域デビューきっかけ広場」を開催し、地域活動をはじめのきっかけとする。今年度は、参加団体による体験コーナーや実行委員による地域デビュー相談コーナーを設置する。

地域活動を促すためのきっかけとなる講演会の実施

シニアに関心のある「健康」をキーワードに、地域活動についての講演会を行う。（2 回開催予定でそのうちの 1 回は地域デビューきっかけ広場と同時開催を予定）この講演会で地域活動に興味を持った方がすぐに次の行動におこせるよう、ロビーには団体に活動展示を行ってもらおう。

地域活動団体を支援するための講座

地域活動を行っている団体に対しコミュニティビジネスの手法を学んでもらい、さらなる団体の発展を目指す。地域活動 = ボランティアという視点ではなく、団体の活動がコミュニティビジネスに発展することで、地域デビューをする方の対象を広げていく。

また、ボランティアやコーディネーターの養成講座を開催する。

地域デビューきっかけ広場

- 平成 29 年 9 月 10 日 鶴ヶ島市役所 参加者数：約 200 人
- 東京都健康長寿医療センター研究所
小林江里香氏 講演「4 つのカギで人やまちとつながろう」、
パネルディスカッション、
活動団体パネル展示



住み続けたい地域づくりを考える講演会

- 平成 30 年 1 月 30 日 鶴ヶ島市北市民センター
参加者数：約 70 人
- 東京大学高齢社会総合研究機構
特任講師 後藤純氏講演
「人生 100 年時代を自分らしく暮らせるまち」



28 年度の取組・効果

シニアと市民活動団体の出会いの場となる

「地域デビューきっかけ広場」の開催

ボランティア講座の実施

延べ 320 名の来場者から、
24 名が団体に入会、活動開始
傾聴ボランティアグループが新たに結成！



平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 鳩山町

目的

鳩山町の高齢化率は県内で最も高く、団塊の世代の方が75歳以上となる平成37年には65歳以上高齢者人口割合は50%になると推計され、2人に1人が高齢者になる見込みである。このような中、鳩山町の健康寿命は県内で男女とも2カ年連続で1位となり、要介護（要支援）認定率は県内で2番目に低く元気な高齢者が多い状況である。そこで、元気な高齢者をはじめとした町民の社会参加を促進し、みんなで支え合い、住み慣れた町でいつまでも生活できる地域づくりを推進する。

内容

社協ボランティアセンターの充実（平成30年1月～3月）

社協ボランティアセンターにボランティアコーディネーターを設置して、関係機関の調整や活動したいシニアと団体とのつなぎを行う。また、介護支援サロンボランティア・生活支援サポーター養成講座を開催し、高年者の介護予防活動等のためのボランティア育成を推進する。

シニアが地域で活躍するための効果的な手法やネットワーク化などのトータルコーディネート学ぶ。

シニア輝き講演会の開催（平成30年3月）

高年者などを対象に講演会を開催し、集まった参加者にシニア世代の就労、社会参加への啓発パンフレットの配布等をして、地域活動への参加を促し、地域活動の普及促進を図る。

ボランティアコーディネートマッピング事業

ボランティアを必要とする人と、ボランティアをしたい人をマッチングさせるため、町内の前期高齢者を対象としたボランティア参加等のニーズを把握し、マッピング作業等を行う。

介護予防・生活支援サポーター養成講座

第1回 ・オリエンテーション

- ・普通救命講習

第2回 ・高齢者の特性について

- ・ふれあい住宅サービスに関する事業説明

第3回 ・利用者さん宅 体験実習

第4回 ・意見交換会

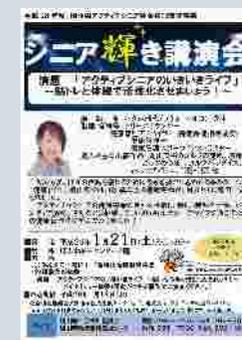


28年度の取組・効果

シニア輝き講演会

「アクティブシニアのいきいきライフ！」
～脳トレと体操で活性化させましょう！～
講師 フリーアナウンサー・健康管理士
小久保 晴代 氏

- ・単なる座学ではなく参加者が体操に参加する形式の講演会を開催。
- ・講演会への参加がきっかけで、ボランティア養成講座に参加する人も少なくなく、連携の効果があった。



平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 寄居町

目的

急激に少子高齢化が進む中、持続可能な地域社会づくりのために、地域の人たちがお互いに助け合う仕組みをつくる必要がある。そのため、地域活動等に積極的な参加が期待される定年直後のシニアなどに地域を知ってもらい、地域社会参画のきっかけづくりを行う。

内容

空き店舗を活用した拠点の整備（平成 30 年 2 月）

H 2 8 年度に設置した高齢者をはじめ誰でも使用できるサロン「いこいの家（寄居駅周辺）」を継続運営するとともに、今年度は男衾地区にも設置。地域のシニアが主体となってサロンを運営することと、シニアの利用者層を地域活動に取り入れることで、地域の活性化を図る。

アクティブシニア実践講座の開催（平成 29 年 11 月～平成 30 年 2 月）

シニア層が社会参加するために必要な知識や技術を習得する機会を提供し、地域社会の担い手となり得るリーダーを養成する。

地域デビュー体験ツアーの実施

活発な社会参加活動を実施する市町村の団体を訪問し、その取り組みを学ぶ先進地視察研修を行うことで意欲を引き出し、その後町内活動団体のボランティア 1 日体験（地域デビュー体験ツアー）に参加してもらうことで、社会活動に興味のある方々に経験を積んでもらう。

NPO 法人、ボランティア団体等の紹介

町内の団体の活動を紹介するパネルを作成し、町のイベントで展示しイベント来場者に活動を説明するなど新たな担い手を確保する。

シニア世代を興味・関心から体験へと誘い込む、 アクティブシニア実践講座「楽しい趣味活」

シニア世代に訴求する楽しいテーマでの体験講座を実施。テーマは「ギター弾き語り」「そば打ち」「チンドン屋」「手芸」「子ども食堂」の 5 つ。学んだことを活かし、今度は担い手として地域に還元してもらう。

（サロンでのお披露目等）



28 年度の取組・効果

地域に出るきっかけづくりの場としての、
ふれあいいいききサロン「いこいの家」の開設

住民主体の運営で

地域高齢者の交流の拠点に

（週 1 日、開設後 3 か月で 263 名が参加）

教室参加者により健康マージャン

サロン発足



平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 日高市

目的

ボランティアネットを構築・運営することで、ボランティア活動団体（担い手）、ボランティアの助けを必要としている人（受け手）、ボランティア活動に興味のある方（希望者）それぞれに向けた情報提供支援を行う。

また、ボランティアサポーターを養成し組織化することで、ボランティア団体に対する相談体制、団体間の交流体制、中間支援体制を構築する。

内容

ボランティアネットの運営（平成30年1月）

ボランティア団体の登録・活動紹介、活動検索、ボランティアマッチング機能等を備えたボランティアネットを構築。このシステムを活用することにより、助けを必要としている人とのマッチングや仲間募集、他団体との交流や情報提供、講習会等への参加申し込みの容易化など、情報発信力の強化と事務の効率化を図る。また、行政と日高市社会福祉協議会におけるボランティア登録団体の一元化を図る。

ボランティアサポーターの養成（平成30年2月）

つながりを創る人（ボランティアサポーター）養成講座やボランティアネット操作説明会を開催し、ボランティアサポーター（ボランティア団体同士、ボランティア団体と行政・社会福祉協議会との間をつなぐ中間支援役）の養成を行う。

ボランティアサポートクラブの運営（平成30年3月）

上記のボランティアサポーターを組織化してボランティアサポートクラブを設立し、ボランティア活動等に関する相談やマッチング補助、情報化支援を行う。

またボランティアサポートクラブ、行政・社会福祉協議会によるボランティア交流会を実施する。

つながりを創る人(日高市ボランティアサポーター)養成講座

第1回 そもそもボランティアや市民活動って何ですか？

講師：認定 NPO 法人ハズオン埼玉 代表理事 川田虎男氏

第2回 入りたくなるようなグループづくりのコツを伝授。

講師：認定 NPO 法人ハズオン埼玉 副代表理事 生越康治氏

日高市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 鹿山朝香氏

第3回 マーキーのファシリテーション塾

講師：青木将幸ファシリテーター事務所 青木将幸氏

第4回 新しいつながりかた～日高市ボランティアネット始動！～

講師：日高市社会福祉協議会 地域福祉担当 小坂翔海氏



輝く可能性、さあ“日高”を ONE UP !

2018 HIDAKA ボランティア交流会

講師：セカンドハーベスト・ジャパン CEO

マクジルトン・チャールズ氏

（日本初「NPOフードバンク」を創設）

第2部 交流会（活動紹介、意見交換）

地域デビュー楽しみ隊

高麗神社 宮司 高麗文康氏

快サークル コロネット



平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 吉川市

目的

日中は住まう地域を離れ、他の地域において仕事に就く男性は、地域とのつながりが希薄なため、定年を迎えることをきっかけに時間とともに地域で孤立してしまう傾向にある。そこで吉川市では、楽しみながら地域デビューするきっかけと機会づくりを男性シニア世代に提案し、生涯現役のアクティブシニアとして地域活動などの担い手として活躍してもらうことを目的とする。その手段として、本年度は男性シニア層を中心に、地域デビューのきっかけづくりを目的としてシニア元気塾を開催し、地域デビューからはじまり主体的に地域活動に取り組む力までを育成するプランをメンバーに合わせて提案していく。

内容

シニア元気塾の開催（平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月）

シニアが地域に興味を持ち、地域デビューするきっかけづくりを目的に団塊シニア男性向けの講座を開催する。

地域活動コーディネーターの設置

NPO法人にコーディネーターを配置し、団体の活動場所の情報収集、関係機関の調整、活動したいシニアと団体とのつなぎを行う。

人数 2人（週2日6時間の勤務。）

内容 ボランティア団体及び市民活動団体の活動内容の把握及び活動紹介リストの作成
活動団体の掘り起こし、講座の企画、運営
ボランティア活動をしたい者に対する活動団体の紹介
活動団体からの相談対応 など

アクティブにいこう！シニア元気塾

・第1期 平成 29 年 9 月～12 月（4 回）

吉川市中央公民館、吉川市民交流センター おあしす

講演「学びが開く豊かな人生、素敵な老い方」

講演「会社から地域へ」

（文教大学理事長 野島正也教授）

男の身だしなみ講座（資生堂ライフクオリティ事業部）

男の手料理・交流忘年会

・第2期 平成 30 年 1 月～3 月（3 回）吉川市民交流センター おあしす

講演、ワークショップ

「人生 100 年時代を自分らしくいきるには」

（東京大学高齢社会総合研究機構 後藤 純 博士）

グループワーク「シニアのゆるやかな就労を考える」

やってみよう！地域でできること

**アクティブにいこう！
シニア元気塾 開催！**

第1回 9月3日(日) 13:30～16:00 中央公民館301 「学びが開く豊かな人生 素敵な老い方」 文教大学理事長 野島正也教授	第2回 10月22日(日) 13:30～16:00 おあしす フィットネスルーム 「会社から地域へ」 文教大学理事長 野島正也教授
第3回 11月23日(祝) 13:30～16:00 おあしすフィットネスルーム 「男の身だしなみ講座」 資生堂ライフ クオリティ事業部	第4回 12月17日(日) 13:30～17:00 おあしす 生活工房 男の手料理・交流忘年会

シニア元気塾は吉川市委託事業(長寿支援課)
NPO法人さすけあい・よしかわが行うものです

参加者募集中！
元気シニアの参加お待ちしております！



平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 三芳町

目的

三芳町で実施してきた「高齢者にやさしいまちづくり懇談会」において、シニアの社会貢献 健康寿命を延ばす 家にいる人が外へ出る方策が必要等の課題が抽出された。本事業では、この課題に対応する方策を検討する関係機関によるネットワークの構築と事業の実施を目的とする。

内容

シニア活躍推進協議会

シニアが活躍する団体、シニアに関係する団体、庁内関係部署で会議を構成し、社会参加の方策を検討するネットワークを構築する。

シニア成人式の実施（平成 29 年 12 月）

概ね 60 歳以上の今後の新たな生き方を模索する方を対象に、式典、地域デビューや地域活動についての講演、地域団体とお見合いなど、地域活動団体等と参加者が結びつくきっかけとなるシニア成人式を行う。

シニア活躍アドバイザーの設置とふれあいセンター事業の実施

町が社協に委託する高齢者向け生きがい対策事業「ふれあいセンター」にアドバイザーを設置し、シニアと社会資源のつなぎを行う相談事業を実施。またシニア向け事業を運営し、参加者を域活動団体につなげていく。

はじめの一步...シニアの地域デビュー講座の実施

基調講演とまちづくり活動者 5 人による講座、まちづくり団体見本市を実施し 20 人程度の参加を目指す

シニア成人式

- ・平成 29 年 12 月 15 日 コピスみよし
- ・主な内容
 - 成人代表によるパネルディスカッション
(地域デビュー楽しみ隊隊員の前島賢司さん他 2 名)
 - まちづくり見本市 (活動団体のブース展示)
 - 立食パーティー
 - 余興
(ピアノ芸人まとはゆうさんによるお笑いと、参加者みんなでの合唱)



平成 29 年度シニアの社会参加を支援するモデル市町村の取組 宮代町

目的

定年を迎えたリタイア世代（60代）は地域とのつながりが希薄なため、時間とともに地域で孤立してしまう傾向にある。そこで宮代町では、地域とのつながりを楽しむ第2の人生をリタイア世代に提案し、生涯現役の地域活動の担い手になってもらうことで、地域からの孤立を防いでいく。その手段として、地域で活躍できるリタイア世代の人材を「縁じょい」メンバーとして登録し、地域デビューを契機に主体的に地域活動に取り組むまでの育成プランをメンバーに合わせて提案していく。

内容

地域デビューイベント「縁じょい」フェスティバルの開催（平成29年12月）

主にリタイア世代（60代～）の町民を対象に、第2の人生を楽しむコツと地域活動の楽しさを伝えるイベントを開催する。区長や自治会長が出席する地区連絡会で地域デビューイベントのPRを実施し、イベントの周知と地域デビューのための出前講座を行う旨を伝えていく。また、イベントの事前準備として町、社協、既存の地域団体で地域の縁づくりに向けた勉強会を立ち上げ、事業を始める背景や効果について共有し、イベントを一緒に作り上げていく。イベント開催後は地域デビュー出前講座を開催し、活動参加への後押しをしていく。

「縁じょい」メンバー登録と通信の送付

イベントまたは出前講座にて、地域デビューしたい、活動に興味を持った方を「縁じょい」メンバーとして登録を行い、「縁じょい」ファイルを配布する。「縁じょい」メンバーには「縁じょい」通信を送付し、以後定期的に地域活動情報を通信として提供していく。

「縁じょい」プランナーの創設

社協職員が兼務し、「縁じょい」メンバーの地域デビューに向けた相談・支援、メンバー管理、地域活動情報の発信、出前講座の実施などを行う。

地域つながり講座の開催（平成30年2月～3月）

地域での関わり方を学ぶ講座として、家事援助の方法を学ぶ講座と地域で集う居場所づくり講座を開催する。

「進修館まつり」の開催（平成30年3月）

まつり内の1つの企画として実施する「のど自慢」について、運営ボランティアを、「縁じょい」メンバーから募集し、企画に携わりながら、地域活動の楽しさを知ってもらう。また、当日の出場者にPRタイムを設け、参加者に対し、出場者の活動等について興味を持ってもらう。



「縁じょい」フェスティバルの開催

スポーツライター&キャスターである青島健太氏をお招きし、「自分の枠からはみ出して、新しいことに踏み出そう」という応援メッセージを参加者に熱く伝えてもらい、縁じょいメンバー登録への後押しをもらった。参加者約300名中、約120名がメンバー登録をした。

